

筑波大学
先史学・考古学研究

第 32 号

筑波大学人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
人文学学位プログラム 歴史・人類学サブプログラム

2021



筑波大学へ赴任された当時の西野先生：研究室にて（1988年頃）



シリアのエル・ルージュ盆地，テル・エル・ケルク遺跡発掘調査に参加（1992年）



西野先生退官記念旅行：丹沢湖にて（1996年）



退官後、まつ子さんとともに東京教育大学の同期会に参加：碓氷峠にて（2014年）

筑波大学 先史学・考古学研究

第 32 号

2021 年 3 月

目 次

口絵

- 久能向原 3 号墳出土の蛇紋岩製小玉…………… 久永 雅宏
中ノ浜遺跡出土の土笛…………… 鷹野 あきこ

論文

- 古墳時代後半期の常総地域における埋葬方法とそのプロセス…………… 荒井 啓汰 1
古代常陸国における鉄器の分業生産—鹿の子 C 遺跡の再検討— …… 小屋 亮太 23

研究ノート

- 久能向原古墳群出土石製玉類の技法的・材質的調査…………… 久永 雅宏・村串 まどか 49

調査研究報告

- 土浦市后塚古墳の発掘調査—2018・2019 年度調査の概要—
…………… 滝沢 誠・山下 優介・荒井 啓汰・大村 陸・大沼 柊平・浅野 孝利 61

資料紹介

- 山口県下関市中ノ浜遺跡出土の土笛について…………… 鷹野 あきこ 87
西野元先生を悼む …… 谷口 陽子 97
研究活動報告 …… 101
規約・執筆要項 …… 105

編集後記

2020年を振り返る言説は、おそらく世界中の多くの場所でCOVID-19（新型コロナウイルス）下の混乱した世相と強いられる新しい生活様式についてであろうと思われます。筑波大学でも2020年度の講義やゼミはオンライン形式で行われ、行事や課外活動が中止させられるなど学生生活にも様々な制約が課せられています。考古学を取り巻く状況も例外ではなく、海外での発掘調査は延期され、国内の外部機関への資料調査も気軽に行けないなど研究活動にも多大な影響が出ています。

そんな中、今号では2報の論文と研究ノート・調査報告・資料紹介が1報ずつ、計5報の報告を掲載することができました。苦しい状況でも研究活動を続けてきた著者たちの努力あつての成果です。また調査研究報告としてまとめられた「土浦市后塚古墳の発掘調査」は、2018年度から筑波大学の考古学実習の一環として行われてきた調査の成果をまとめたものです。担当された滝沢先生、前田先生の感染対策を考慮した運営や学生たちの協力により、2020年度も11～12月に后塚古墳・王塚古墳の発掘調査を無事に行うことができました。年度当初の混乱から立ち直り、新様式での大学活動も動き出しています。

2021年度も感染症流行は続く見通しで、もう以前と全く同じ生活様式に戻ることはないかもしれません。COVID-19対策に伴う予算配分の見直しの名目で紀要発行予算が削減されるなど、健康被害や活動自粛以外の影響も表れています。それでも連続と続いてきた考古学研究の歴史を途切れさせず、今後も『先史学・考古学研究』の発行を続けていければと存じます。

このような状況の中、今号の編集に尽力してくれた大学院生の大村陸さん、鷹野あきこさん、荒井啓汰さんに、この場をお借りして御礼申しあげます。

(Y.I.)

筑波大学 先史学・考古学研究 第32号

2021年3月 発行

編集 筑波大学 先史学・考古学研究編集委員会
(大村陸, 鷹野あきこ, 荒井啓汰, 板橋悠)

発行 筑波大学 人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群
人文学学位プログラム 歴史・人類学サブプログラム
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1

連絡先 板橋研究室
TEL 029-853-4048
E-mail tap1973@hotmail.co.jp

印刷 松枝印刷 株式会社
〒303-0034 茨城県常総市水海道天満町 2438
TEL 0297-23-2333

TSUKUBA ARCHAEOLOGICAL STUDIES

No. 32

March 2021

CONTENTS

Frontispiece

The Stone Beads Excavated from Kunomukaibada Tombs HISANAGA, Masahiro

The Vessel Flute (Tsuchi-Bue) from Nakanohama Site, Yamaguchi TAKANO, Akiko

Article

Analysis of Mortuary Patterns and Burial processes from Stone Coffins in the Joso Region

ARAI, Keita 1

Iron Implements Production System in an Ancient Japanese Government-owned Workshop :

A Reexamination of the Kanoko-C Site

KOYA, Ryota 23

Current Researches

Study of the Stone Beads Excavated from Kunomukaibada Tombs

HISANAGA, Masahiro, MURAKUSHI, Madoka 49

Field Reports

The Preliminary Report of the Excavation at Kisakizuka Tumulus (2018 and 2019), Japan

TAKIZAWA, Makoto, YAMASHITA, Yusuke, ARAI, Keita,

OMURA, Riku, ONUMA, Shuhei, ASANO, Takatoshi 61

New Material

The Vessel Flute (Tsuchi-Bue) from Nakanohama Site, Yamaguchi

TAKANO, Akiko 87

In commemoration of Professor Gen Nishino

TANIGUCHI, Yoko 97

Department Activities and Publications in 2020 101

Correspondence 105

SUBPROGRAM IN HISTORY AND ANTHROPOLOGY
UNIVERSITY OF TSUKUBA